

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	0401	救急医療確保事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	3	地域医療の充実			
目的	夜間・休日の医療体制の確保					
対象	救急医療を必要とする市民					
意図	休日・夜間等の救急医療を受けられる場を提供することにより、市民はいつでも安心して診療を受けることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 休日等歯科診療所運営 休日の歯科救急医療の確保 <input type="checkbox"/> 在宅当番医制対策 休日における一次救急患者の医療を確保 <input type="checkbox"/> 病院群輪番制運営 夜間及び休日における二次救急患者の医療を確保するため、病院群輪番制の事業運営に要する経費に対して補助 <input type="checkbox"/> 救急医療確保支援 夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の輪番当番日以外の医療体制確保に要する経費に対して補助						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	休日歯科診療所診療日数	日	計画	70	70	
			実績	70	70	
②	休日当番医数	ヶ所	計画	52	52	
			実績	51	52	
③	病院群輪番制参加病院	ヶ所	計画	5	5	
			実績	5	5	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	休日歯科受診者数	人	目標	300	300	
			実績	353	417	
②	休日当番医受診者数	人	目標	5,500	5,500	
			実績	5,594	5,568	
③	病院群輪番制を利用した市民数	人	目標	1,500	1,500	
			実績	1,209	1,168	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【成果指標の設定根拠】 市民がいつでも安心して医療を受けるために必要な救急医療の確保が目的であり、利用者数を増加させることが目的ではないが、利用者数を見ることで医療情報が市民に適切に提供されているかどうかを測ることができる。 また、二次救急医療である病院群輪番制の利用者数が目標値より低い一方で、一次救急医療である休日当番医や休日歯科の利用者数が目標値より高いことは、「病診連携」への認識が浸透しつつあるといえる。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	市民がいつでも安心して医療を受けるためには、夜間及び休日に患者を受け入れる医療機関を確保することが必要であり、市の主体的な関与が必要である
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	救急医療患者を増やすことが目的ではなく、夜間及び休日の一次、二次救急の場を確保し市民に提供することが本来の目的であるため、広報やホームページ等で市民に継続して周知を図っていく必要がある
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	当該事業は、関係医療機関への委託又は補助金交付により実施している事業であり、事業の担い手は限られることから、削減余地はない。 職員が関わるのは、委託事務、補助金交付事務、連絡調整等が主な業務であり、外部への委託は馴染まない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益者は特定の市民ではなく、急な発病や負傷した際には、誰でも診療を受けられることから、受益機会は均等である
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
夜間・休日等の救急医療体制を確保した結果、市民がいつでも安心して医療を受けられた。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	02	0401	救急医療確保事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		88,257	88,109		△ 148
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	13,274	13,751		477
	一般財源	74,983	74,358		△ 625

事業期間	○ 単年度繰返	□ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標
安心して必要な医療を受けています。

事業開始の背景・経緯
救急告示病院における医師・看護師不足等により救急医療体制確保が必要となっており、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境の確保のため事業を導入した

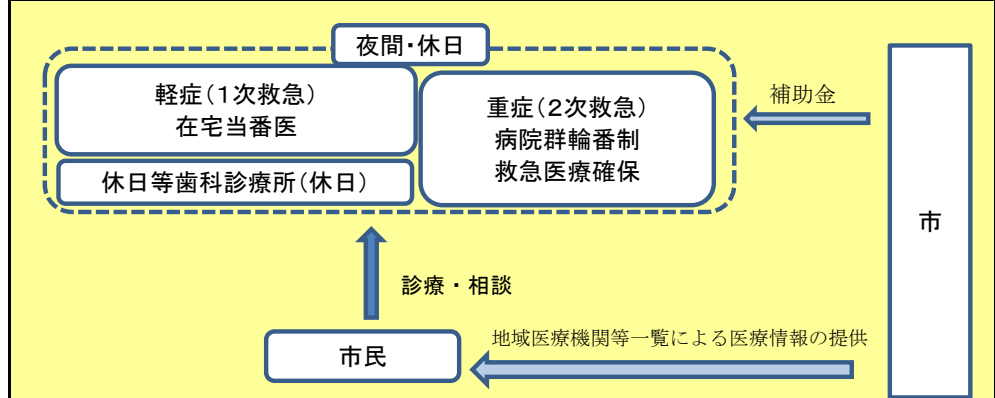
事業概要
 ○休日等歯科診療所運営
 休日の歯科救急医療の確保
 ○在宅当番医対策
 休日における一次救急患者の医療を確保
 ○病院群輪番制運営
 夜間及び休日における二次救急患者の医療を確保するため、病院群輪番制の事業運営に要する経費に対して補助
 ○救急医療確保支援
 夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の輪番当番日以外の医療体制確保に要する経費に対して補助

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
 医療の確保は市民が安心して暮らすために不可欠であることから、広報やホームページ等を利用した医療情報の周知を行うなど更に有効性を高める方策を検討していく

担当部署 部名 健康福祉部 課名 地域医療対策室 担当係長 吉川 孝明 内線 523

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 休日等歯科診療所運営事業（健康づくり課） 4,612 千円（前年比▲19千円）
 休日の歯科救急医療の確保 開設日数70日
 診療日（時間）：日曜祝日（9時～13時）
 場所：花巻保健センター内
- 在宅当番医対策事業（健康づくり課） 6,527 千円（前年比±0円）
 休日における一次救急患者の医療を確保 休日当番医52病院・診療所
 診療日（時間）：日曜祝日（9時～17時）
 場所：内科・外科各1医院
- 病院群輪番制病院運営事業（地域医療対策室） 16,970 千円（前年比▲129千円）
 夜間及び休日における二次救急患者の医療確保のため事業運営経費を補助
- 救急医療確保支援事業（地域医療対策室） 60,000 千円（前年比±0円）
 夜間及び休日における二次救急医療体制の確保を図るため、病院群輪番制に参加する民間二次救急告示病院の輪番当番日以外の医療体制確保の経費への補助支援